

事業評価における
実施単位の見直しについて

事業評価における実施単位の見直し(水源林造成事業)

現行



- 地域区分は整備局(全国6単位)
- 同一年度の契約地をまとめて評価

改正後



- 地域区分は広域流域(全国44単位)
- 生育段階で3区分した事業箇所をまとめて評価

課題

- 地域の区分が広大で地域性が反映されにくい
- 長期の事業を5年毎に細切れで評価するのは機械的で評価の視点が曖昧

改善

- 地域の区分を流域に細分化することで、事業地と受益地を関連付けた評価が可能
- 保育期(10~29年生)、間伐期(30~49年生)、それ以降(50年生~)に区分することで評価の視点を明確化